

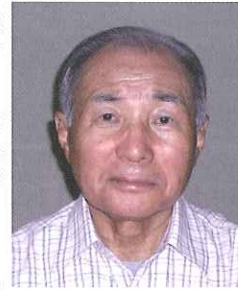
真砂小学校区コミ協だより 第15号

平成25年9月20日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会
編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

新会長に佐野起夫氏

(西小針台3丁目自治会)



就任のあいさつ

真砂小学校コミュニティ協議会も今年7年目の年を迎えました。創立時よりこれまで数々の尽力を頂いた先輩の皆様並びに関係各位に心より感謝申し上げます。私ごと、今年度の6月8日の総会において5代目の会長に選任されましたが、大役に責任の重さを痛感しております。コミュニティ協議会は、自治会のみでなく、地域の各種団体、機関との協働など多様な活動が、求められる情勢になって来ているのが現状であります。

「和と協力」をベースに

不慣れで、個の力では何も出来ませんが、当コミュニティ協議会が「地域のまちづくりセンター」としての役割を担える組織に一步でも二歩でも前進するよう役員、自治会長、コミ協関係の皆さんと共に協力、努力し、微力ではありますが、「和と協力」をベースに自治会を核に部会活動を活発化し、安心、安全、で住み良い町づくりを目指して参りたいと思っておりますので、皆様のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

副会長就任のあいさつ 大谷勇

(松海が丘2自治会)

この度、はからずも今総会において副会長に選任されました大谷勇です。

ご承知のこととは思いますが校区コミュニティ協議会は、小学校区又は中学校区を単位として単一自治会の枠を超えた広域の組織です。その意義は、地域のことは地域のみんなで考える住民自治をめざすことにあり、役割としては地域における諸問題の把握、課題解決の検討や校区住民の生活の充実のための福祉、防災、交通安全、防犯、子供の健全育成、交流と親睦の促進など様々な活動であります。当真砂小学校区コミュニティ協議会でも各部会を設けて活動しておりますが、これらの諸課題をスムーズに

退任のあいさつ

前会長 松田勝男

今年6月の総会時に真砂コミ協の会長を退任いたしました。平成23年度より3代目、前若林会長の後任として1期2年間務めさせていただきました。共に活動していただいた役員並びに各部会員のささえ合いはもとより、加盟自治会、諸団体の各位に対し心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり町づくりセンターとしてのコミ協の役割は多岐にわたり現在は7部会が中心となり、それぞれの目的に沿った活動について提案の上実施し、活動の成果につきましてはその都度広報誌でお知らせをさせて頂いております。

直近の諸活動につきましては、「真砂うきうき元気塾」と銘を打っての健康増進講座と古町芸妓連による舞の同時開催、また人気の高い子供向け「たこあげ、こま回し大会」、5年目を数える写真愛好家による真砂小学校文化祭への協賛展示、スポーツ関係では初心者のための「太極拳講習会」や年初初の「フロアーカーリング講習会とミニ大会」等々、若男女を交えた世代交流の場の提供に努めています。生活環境改善つきましても、保安林、飛砂対策、除雪対策等々数年来の運動が実り目に見える形で成果が上がっているように思われます。新体制のもと当コミ協が益々発展されるようご期待申し上げます。退任のあいさついたします。

役員体制と事業計画・予算決まる

— 6月8日に25年度総会 —

平成25年6月8日真砂会館に於いて、西区泉和久区長、真砂小学校有田一正校長、他西区地域課小出課長補佐、山本地区課振興係長等のご来賓を頂き新年度総会が開催されました。委任状を含め出席者は48名で95%の出席率でした。自由ヶ丘自治会会長の中村健三郎氏が議長に選出され、各部会長から平成24年度事業報告、会計報告、会計監査報告、平成25年度事業計画(案)予算(案) Ⅱ3頁に記載Ⅱ部の

会の更改・新設による会則の部分改訂(案)役員改選(案)等が提案され、全議案賛同の上滞りなく総会が終了しました。役員は次の通り決定しました



役員Ⅱ真砂小学校区コミュニティ協議会

会長	佐野 赳夫	新任 (西小針台3丁目自治会)
副会長	根本 修一	再任 (真砂4丁目自治会)
副会長	大谷 勇	新任 (松海が丘第2自治会)
会計	二宮 正朋	新任 (小針台自治会)
事務局長	池田 葵	再任 (晴海ヶ丘自治会)
会計監査	高田 龍介	新任 (真砂2丁目自治会)
会計監査	井川 道雄	新任 (真砂3丁目自治会)
福祉部会長	大谷 勇	再任 (松海が丘第2自治会)
青少年健全育成部会長	本田 明治	新任 (真砂3丁目自治会)
文化部会長	白島 達彦	再任 (寺尾台自治会)
スポーツ部会長	下川 信也	再任 (真砂1丁目自治会)
生活環境部会	根本 修一	再任 (真砂4丁目自治会)
交通安全・防犯部会長	白杵 健一	新任 (西小針台3丁目自治会)
広報部会長	小林 知昭	新任 (松海が丘第1自治会)
防災部会長	部会員互選	

平成 25 度「各部事業計画・予算」

単位 千円

部 会	本年度事業計画	概略予算	合計
福祉部会	①世帯交流の集い「こどもたちと遊び隊」 ②真砂元気塾「うきうき元気に生きましょう」	8 8 1 4 3	2 3 1
青少年 健全育成部会	①真砂体験教室「たこあげ大会」 「コマ作り・コマ回し大会」 ②ふれあい広場「プレイゾーン」	1 5 0 5 5 1 0 5	3 1 0
文化部会	①「第5回写真教室」 ②「文化講演会」	4 7 2 4	7 1
スポーツ部会	①野球大会「日報杯・信金杯」 ②グランドゴルフ大会 ③太極拳講習会	2 3 4 4 3 5	1 0 2
生活環境部会	①「ハマニンニク」植栽 ②原発等環境問題講演会	2 0 5 3 3	2 3 8
交通安全・ 防犯部会	①地域防犯対策パトロール	1 0	1 0
広報部会	①コミ協だより第15号発行 ②コミ協だより第16号発行	1 7 1 2 3 1	4 0 2



まさご体験教室

「たこあげ大会」に140人

青少年健全育成部会

7月20日(土)に真砂小学校において今年で4年目となる、真砂体験教室「たこあ

げ大会」を真砂小学校PTA・真砂ふれあいスクール(わくスク)との共催で開催しました。当日は子ども、大人合わせて約140名の参加がありました。

9時半のたこ作りの開始とほぼ同時に、製作スペースの図工室はほぼ満杯に、直ちに用意した視聴覚室もあつという間に埋まってしまふ盛況ぶりでした。≪4頁に続く≫



今年、棒をシートに貼りつける程度の簡単なものから、大人も頭を抱える難しいものまで、主に4種類のたこを用意しました。
 高学年の子どもたちの参加が今年が増えて多くの子どもが難しかったこにチャレンジして苦戦する姿に、教える大人たちがまさしく「引つ張りだこ」



状態でした。

予想を上回る参加に、はさみ・定規・セロテープなどの小道具が不足していましたが、譲り合って順番を待っている姿が印象的でした。たこの形ができると、今度は子どもたちが得意のお絵描きです、それぞれのセンスで思い思いのデザインによる、約120のオリジナルだこが完成しました。



得意のお絵かきで オリジナルが続々

当日は残念ながらグラウンドが使用できなかったものの、玄関前の広場は元気にたこを引つ張って走り回る子どもたちの姿であふれていました。

たくさん参加してくれた子どもたち、お手伝いいただいた、真砂ふれあいスクール(通称・わくスク)、PTA、おやじの会、健全育成部、地域のみなさまには改めて感謝申し上げます。

青少年健全育成部では、10月

末に真砂小学校文化祭・PTAふれあい広場で昔の遊びを中心とした「プレイゾーン」、11月末にはまさご体験教室「こま回し大会」を予定していますので、みなさまどうぞお気軽に参加して、子どもたちと交流をしてほしいと思います。



的確なアドバイス

7月7日 「第5回写真教室」

文化部会

第一部 諸コンクールの入選作品の鑑賞

作品のなかで上位入賞とそうでない作品との違いを意識付けられる。

「ここのポイントが優れている」「この場面構成は偶然だけでなく、日頃の努力の結果だと思う」など講師のコメントを聞きながら学習をした。

コンクールの「テーマ」に合った作品とは



・子供

子供の可愛らしさ・あどけなさ
がどう表現されているかがポイント。

・花火大会

全国各地の花火の写真を見ると、その花火師の気質とか花火の特徴があり加



えて自分の表現したかった花火をどういう構図にどこから捉えるかなど一瞬のうちに変化する中の撮影の難しさを学びました。

・花・春

雪国に暮らす私たちにとって、ようやく迎えた春、

このテーマは心弾む物ではないでしょうか。つつい被写体に心身が奪われて、大切なことを忘れてしまう、題材の「テーマ」をいかに表現をしたいのかを明確にしておく事の重要性を指摘されました。

第二部 デジカメの撮影テクニック

・構図の工夫について

「三分割法」を使ってテーマを画面のどこに設定するか。人物を入れるときは、人物の視線の方向を考えその先を広くとることが大切等。

・光の効果

順光 平面的になるが、色彩は美しくなる。
逆光 明暗が強調される。
斜光 立体感を表現できる。

・花の撮り方のワンポイント

近すぎるとピンボケになる、マクロレンズを利用すると思わぬ効果が出る。

撮影時は画面の中心に被写体を持ってきてピントを合わせる。

・光を活用する

ストロボの利用、太陽光は基本的にもっとも優れた光源である。

・撮影角度の工夫

ハイアングル、ローアングルなど変化させ、その中で最も良い角度を決める、一枚でベストショットと言うわけにはいかない。

・人物を撮る

背景もはつきり写すと後で「どこへ行ったか」思い出すことが出来る撮影ポイントは、絞りを絞り人物からはカメラに近くよってもらおうこと。

第三部 参加者の作品を見てのアドバイス

予定した時間が足りなくなるほど作品を用意していただき、講師は一枚ずつ的確なアドバイスを提示されもつとも身の入った時間帯であったと思います。次回には講師より余裕をもってアドバイスをしてもらう方法を考えています。



飛砂対策

ハマニンニク今年は5,000株植栽

3月23日 生活環境部会



今年度は市が500万円の予算をつけ系統的な対策の初年度として、植栽場所510平方メートル

飛砂防止対策の一貫として平成22年10月に浜辺の植物5種類の種蒔きから始め23年6月に「ハマヒルガオ」300本、24年3月「ハマニンニク」5000株、と毎年「なぎさの植物そだて隊」として活動しています。



平成22、23年度の植栽は全滅でしたが、昨年度植えた「ハマニンニク」はどうにか持ちこたえているように見えます。(今年3月時点)

全部植え付けを終えました。30分より各自治会から35名(区役所3名、造園業者2名含む)が参加し、元氣よく育つことを願いながら1時間足らずで

トルを耐砂垣で囲って整地した一部に当コミ協が、3月23日(土)「ハマニンニク」5000株を植栽しました。

植栽場所は402号線海側で松海が丘4丁目より50〜60m南側です。午後1時



昨年植えた「ハマニンニク」



今年植えたハマニンニクは育っています。(8月時点)



編集後記

今年は梅雨明けしないで熱い夏になったようです。新会長も就任され、今年度はコミ協便りを2回発行し、全世帯に配布する予定です。コミ協の活動がよく分かるよう部員一同努力しております。各部会長におかれましては、活動終了後には写真とコメントの提供にご協力くださるようお願いいたします。熱中症には十分注意され夏を乗り切ってください。